

鳴淵ダム 防災操作の効果について 《速報値》

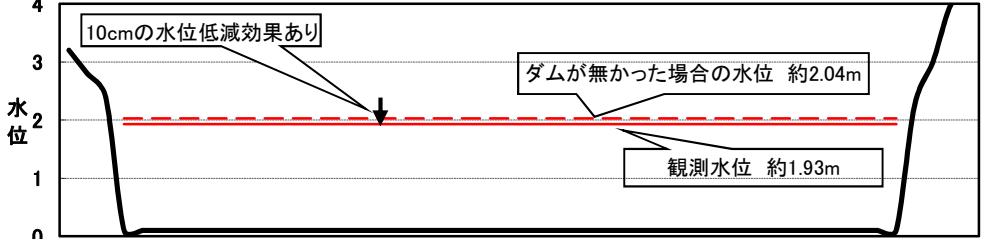
◇防災操作について

◆平成26年7月6日から降り出した雨は、前線の活発化に伴い、鳴淵ダム周辺では、7月6日10時から7日21時までに、累計雨量で182ミリに達しました。7日14時からの1時間で24ミリの雨量を観測しました。

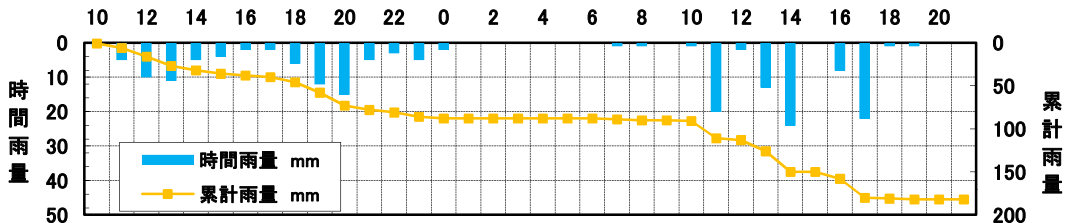
◆鳴淵ダムでは、この出水により防災操作を実施し、毎秒約23立方メートルのダムへの最大流入量に対し、毎秒約14立方メートルをダムでカットすることで、ダムからの放流量を毎秒約9立方メートルに低減させました。

◆この防災操作により、鳴淵ダム下流の雨水橋水位局地点では水位を約10センチメートル低下させたものと推測されます。

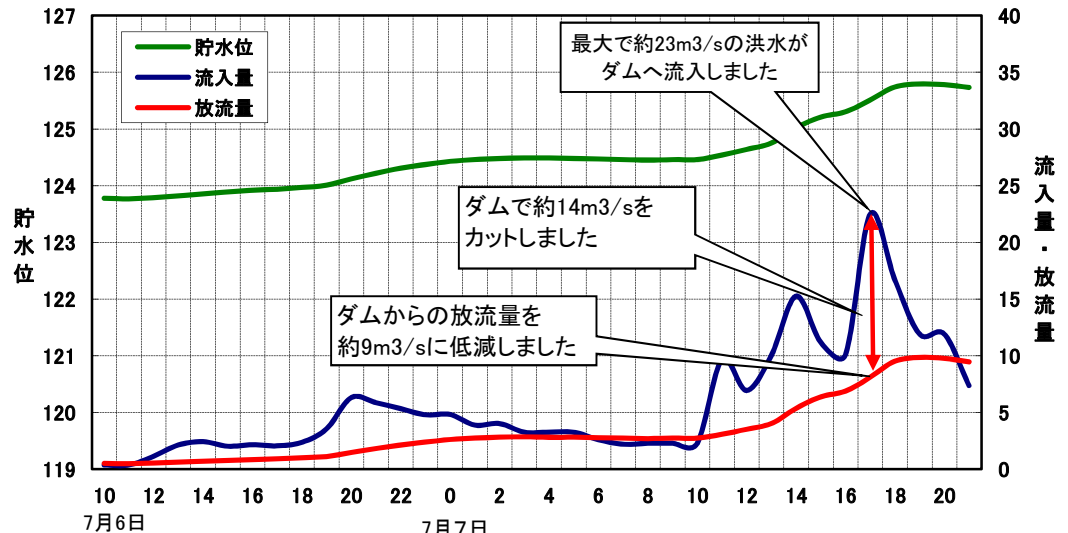
◇雨水橋水位局地点の水位比較



◇鳴淵ダムの諸量及び降雨量



◇ダム位置図



※数値は速報値のため、変わる可能性があります。